

人生 100 年時代構想会議の開催について

平成 29 年 9 月 8 日

内閣総理大臣決裁

1. 趣旨

人生 100 年時代を見据えた経済・社会システムを実現するための政策のグランドデザインに係る検討を行うため、人生 100 年時代構想会議（以下「構想会議」という。）を開催する。

2. 構成

構想会議の構成は、別紙のとおりとする。ただし、議長は、必要があると認めるときは、別紙に掲げる国務大臣以外の国務大臣を臨時に追加し、又は有識者等に出席を求めることができる。

3. その他

- (1) 構想会議の庶務は、関係行政機関の協力を得て、内閣官房において処理する。
- (2) 前各項に定めるもののほか、構想会議の運営に関する事項その他必要な事項は、議長が定める。

「人生100年時代構想会議」の目的と主要テーマ

平成29年9月11日
人生100年時代構想推進室

- ◇日本は、健康寿命が世界一の長寿社会を迎えている。海外の研究(リンダ・グラットン¹の著書「ライフシフト」で引用されている研究)を元によれば、2007年に日本で生まれた子供については、107歳まで生きる確率が50%もある。この日本で、超長寿社会の新しいロールモデルを構築する取組を始めていきたい。
- ◇こうした超長寿社会において、人々がどのように活力をもって時代を生き抜いていくか、そのための経済・社会システムはどうあるべきなのか。それこそが、「人づくり革命」の根底にある大きなテーマ。
- ◇こうした社会システムを実現するため、政府が今後4年間に実行していく政策のグランドデザインを検討する新たな構想会議がこの「人生100年時代構想会議」。

人生100年時代構想会議の具体的なテーマ

- ① 全ての人に開かれた教育機会の確保、負担軽減、無償化、そして、何歳になっても学び直しができるリカレント教育
- ② これらの課題に対応した高等教育改革[※]
※大学にしても、これまでの若い学生を対象にした一般教養の提供では、社会のニーズに応えられないのではないか。
- ③ 新卒一括採用だけでない企業の人材採用の多元化[※]、そして多様な形の高齢者雇用
※これが有能な人材確保のカギであり、企業にしてもこれまでの新卒一括採用だけではやっていけない。
- ④ これまでの若年者・学生、成人・勤労者、退職した高齢者という3つのステージを前提に、高齢者向け給付が中心となっている社会保障制度を全世代型社会保障へ改革していく。

- ◇年内に中間報告をとりまとめ、政策パッケージも盛り込んだ基本構想を、来年前半には打ち出す。

議員リスト

- ・議長 内閣総理大臣
- ・議長代理 人づくり革命担当大臣（議事進行）
- ・副議長 文部科学大臣
厚生労働大臣
- ・構成員 副総理 兼 財務大臣
内閣官房長官
女性活躍担当大臣
一億総活躍担当大臣
経済産業大臣
- ・有識者議員
 - 三上洋一郎 (19) 慶應義塾大学2年生、株式会社GNEX代表取締役CEO
 - 米良はるか (29) READYFOR株式会社代表取締役CEO
 - 品川泰一 (39) 株式会社ユーキャン代表取締役社長
 - 宮本恒靖 (40) 現ガンバ大阪U-23監督、元サッカー日本代表主将
 - 宮島香澄 (51) 日本テレビ報道局解説委員
 - 神津里季生 (61) 日本労働組合総連合会会長
 - リンダ・グラットン(Lynda Gratton) (62) 英国ロンドンビジネススクール教授
 - 高橋進 (64) 日本総合研究所理事長
 - 樋口美雄 (64) 慶應義塾大学商学部教授
 - 松尾清一 (66) 名古屋大学総長
 - 鎌田薫 (69) 早稲田大学総長
 - 榊原定征 (74) 日本経済団体連合会会長
 - 若宮正子 (82) ゲームアプリ開発者

・必要に応じて、有識者等と呼ぶことができる。